



一陽来復の天を待つ



高峰小学校長 井上真彰



さあ、明日の夜はクリスマスイブです。第8波に加えてインフルエンザも心配ですが、きらびやかなイルミネーションを見るとやはり心が躍ります。

1学期の終わりに発行した6号で、2学期以降も平時への移行期間が続いていれば、高峰小学校は「他者との身体的接触」と「豊かな表情を伴ったコミュニケーション」を経験できる時間と空間をこれまでより意識して多く子どもたちに提供すると申し上げました。

振り返ればまだまだ残暑が厳しい9月1日に始まった2学期。始業式場で子どもたちに向かい「2学期は楽しい行事が一杯あります。全員揃って楽しめるように、毎日元気に学校に来てくださいね！」と言ったのがついこの間のようです。実際、修学旅行やキャンプ、遠足、マラソン週間、稲刈り、連合音楽会、綱引き大会、連合運動会、フェスティバル、親子レク、紙漉き等、本当に盛りだくさんの行事がありました。週末の金曜日の朝は教室の机と椅子を後方に寄せてみんなで一緒に床に座り、読み聞かせが始まるのを楽しみに待っていました。休み時間は広い校庭で先生方と一緒に全力で遊びました。笑顔には免疫力を上げる効果もありますが、人とのふれあいを重ねる毎に子どもたちの目には光が、顔には笑顔が満ち溢れていき欠席者が減っていくのが印象的でした。

命より大切なものはありません。ですが、子どもたちの小学校生活も6年間と限りがあるのも事実です。今学期、コロナ禍により約3年にわたり後回しとなった、人としての基盤となる「生き抜く力」を子どもたちに培う場面をたくさん設定できたことを心から嬉しく思います。

高峰小学校は地域と共にある学校です。これからもご支援とご協力をお願いします。

みねっ子フェスティバル(R)を終えて

高峰小学校PTA会長 平本茂樹

日頃よりPTA活動において多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。PTA会長の平本でございます。11/12(土)、晴天に恵まれ「みねっ子フェスティバル(R)」が開催されました。一昨年、昨年と午前中を使って自由参加形式で子ども達と遊ぶイベントを企画しましたが、今年も未だ続くコロナ禍により町としてのふれあいレクは中止となりました。そこで、全校児童が登校して楽しく過ごす形でみねっ子フェスティバルを復活させようと企画が始まりました。今までと同じ形式ではなく、新しい内容で開催する意味を込めて(R)を付けて「みねっ子フェスティバル(R)」としました。「Reborn」のRです。

臨時本部会を何度も開き、午前中は昨年までのイベント「ギュッとレジャーワールド」を進化させ、午後は昨年からご協力いただいた提供品をバザーで販売しながら楽しく「お祭り・縁日」の雰囲気子ども達が少しでも味わえるようにスーパーボールすくい、ヨーヨー釣り、お菓子ひろい等用意し、手作りのアイデア提灯やお手伝いの方々に法被を羽織っていただく等、ある程度の方向性が決まり準備が始まっています。

迎えた当日は昨年同様、校長先生に人物探し「赤白マン」に扮していただき、先生方にも午前中はみねっ子逃走中や各ゲームコーナーで、午後はバザー、各模擬店をお手伝いいただき、安全を確保していただきました。理事の皆様とボランティアでお手伝いしていただいた方々も我々の企画を理解して前日準備をはじめ、当日も朝早くからご協力いただき、子ども達に温かい安心感をいただきました。中学生のボランティアとして多くの卒業生が後輩の為に駆け付け、我々の指示をきちんと遂行し、楽しく



お手伝い、片付けまでやっていただき本当に助かりました。本部の仲間も、私の漠然としたイメージを多才なアイデア、手間のかかる作業こそ楽しさに繋がると信じて絶大なる協力をいただきました。本来なら多くの地域の皆様にもお手伝いいただき、子ども達との交流を深めてコミュニティを拡大したかったのですが、未だ続くコロナ禍のため、校長先生と苦渋の決断でお声掛けすることは遠慮させていただきました。そのような中、感染予防に留意しながら菓匠土門さんには校章焼き印入りおまんじゅうを受注販売としてご協力いただき、相模川右岸改良区さんには3・4年生が作ってくれたお米をポン菓子にして販売するためにご協力いただきました。

「楽しく」を共通意識として、文字通り、子ども達と一緒に楽しい時間を共有することができました。「みねっ子フェスティバル(R)」に携わっていただいた皆様に感謝申し上げます。保護者の皆様のお力添えはもちろん、先生方と地域の皆様、より多くの方々のご協力をいただき、高峰地区全体で子ども達の成長、教育、安全等を守っていかなくてはならないと実感した時間となりました。今回もたくさんの人と人との繋がり、ご協力をいただくことにより、胸を張って言うことができます。「大成功!!」と。



厚木愛甲地区小学校研修会を行いました

厚木愛甲地区の小学校には校内で行っている研究を外部に向けて発表する機会があります。コロナ禍により对外発表は3年に渡り中止になっていましたが、今年から再開したものです。本校は「学びを楽しむ子の育成」を研究主題として研究に取り組んでおり、11月16日(水)の発表当日は4年生を対象に国語の教材「プラタナスの木」を研究授業として公開しました。当日は厚木市や愛川町の小学校の先生方をはじめ、中学校の先生方にもご来校いただき、充実した研究協議を行うことができました。



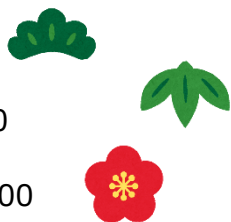
車椅子バスケットボールを体験しました

1948年(昭和23年)に行われた国際連合の第3回総会において採択された世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものです。採択日である12月10日は「人権デー(Human Rights Day)」と定められており、この日を最終日とする1週間(12/4~12/10)を人権週間としています。本校では11月29日(火)に相模原市にあるけやき体育館を拠点として活動している車椅子バスケットボールチーム「SAGAMI FORCE」から講師をお招きして、障がいの重い順に1.0から4.5まで選手に持ち点があり、試合中の5人の合計点が14点を超えないことで公平性を保つことや、重度の方へも門戸を開いていることなど、障がい者スポーツへの理解を深めました。



1月の主な行事予定

- 10日(火) 始業式
- 12日(木) 給食開始
- 13日(金) 委員会活動
- 17日(火) 書き初め展~1/20
- 19日(木) 登校指導
- 20日(金) 研究会 下校 14:00
- 24日(火) 児童朝会
- 27日(金) 研修会 1・2年下校 13:40
3~6年下校 15:15
- 30日(月) 新入生保護者説明会



お知らせ

- 保護者の皆さま、地域の皆さま、今年も大変お世話になりました。良いお年をお迎えください。3学期は1月10日(火)から始まります。

随時更新しています。
ぜひ、ご覧ください。



ホームページ



ブログ